

科目名	原価計算入門	科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	A first manual of Cost Accounting	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
ふりがな	ひろせ たいゆう	実務家教員 担当科目	修得単位	2単位
担当者名	広瀬 大有	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	日商簿記検定試験2級・工業簿記			
到達目標	第4・5問（各々20点満点）35点～40点を目標とする。			
授業概要	令和4年度試験対策用講義である。			
授業計画				
第1回	第1章 工業簿記とは何か ①製造業における経営活動の特徴			
第2回	第1章 工業簿記とは何か ②工業簿記と原価計算			
第3回	第2章 工業簿記のしくみ ①勘定連絡図 その1			
第4回	第2章 工業簿記のしくみ ②勘定連絡図 その2			
第5回	第3章 材料費計算 ①材料費とは何か			
第6回	第3章 材料費計算 ②材料費の計算と記入			
第7回	第4章 労務費計算 ①労務費とは何か			
第8回	第4章 労務費計算 ②労務費の計算と記入			
第9回	第5章 経費計算 ①経費とは何か			
第10回	第6章 製造間接費計算 ①製造間接費とは何か			
第11回	第6章 製造間接費計算 ②固定予算と変動予算			
第12回	第7章 部門別計算 ①部門費計算の第1次集計と第2次集計			
第13回	第7章 部門別計算 ②直課と配賦、直接配賦法と相互配賦法			
第14回	第8章 個別原価計算 ①単純個別原価計算			
第15回	第8章 個別原価計算 ②部門別個別原価計算			
第16回	定期試験			
授業時間外の 学習	講義の復習や勉強会への参加により60～80時間の勉強を望む。			
履修条件 受講のルール	1年次後期科目の工業簿記履修者が望ましい。 2年次から始めても、勉強次第で「合格力」は短期間で身に付く！			
テキスト	岡本清・廣本敏郎 編著『検定簿記講義 2級工業簿記』（2022年度版）			
参考文献・資料	岡本清・廣本敏郎 編著『検定簿記ワークブック 2級工業簿記』（2022年度版）			
成績評価の方法	総合評価方式 ① テスト 70% ② 課題提出 30% ※出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	① 毎週火曜日 14:40～16:10 ② 水曜日 13:00～14:30			
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			

実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	短時間で「日商簿記2級合格」するには、工業簿記問題（第4,5問）で35点～40点（満点）の獲得が不可欠である。第145回試験では3名合格、36点2名、40点1名という具合、実証されている。